

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	文化財課 担当課長	西山 朗
文財－02 史跡買収事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	文化財課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針
			史跡の指定、保存・管理、整備及び活用

1 事業の目的

対象	国指定史跡地の土地所有者
意図	国指定史跡の公有地化により史跡を保存するため。
効果	国指定史跡の民有地の100%公有地化を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

国の補助を受け、史跡買収を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況			当初予算(千円)	116,971	
国県支出金	0	5,300	国県支出金	94,744	
地方債		4,239	地方債	16,600	
その他			その他		
一般財源	0	1,061	一般財源	5,627	
人員配置数		0.5	人員配置数	0.5	
人件費(千円)	0	3,887	人件費(千円)	3,965	
総事業費(千円)	0	9,187	総事業費(千円)	120,936	
市民1人当りの経費(円)		52	市民1人当りの経費(円)	684	
対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 史跡指定地の買収要望は多く、なるべく早く要望に応じる必要がある。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	買収要望に対応するため、今後も実施計画重点事業として優先順位などを検討しながら買収を実施していくとともに、県に対しては補助金の上限適用がないため、今後も引き続き要望していく。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	史跡買収後の整備及び維持管理に関する経費及び人員の不足。	
課題解決のために行った平成27年度取組	買収要望を受けていた史跡指定地の一部を購入することができた。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	予算が限られており、買収要望に迅速な対応ができない。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	国指定史跡の公有地化件数					単位	件	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
買収要望がある中で、確実に要望に対応していくため	目標値	1	1	1	1	1		1		
	実績値	0	1							
	達成率	0.0%	100.0%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

☒ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---